

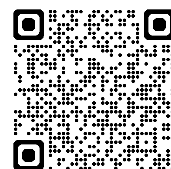
- ★農業と食の現場で活躍する女性を紹介。すべて新規就農の女性たちです。
- 金丸弘美のニッポンはおいしい！
- ★WEB Women's Action Network(上野千鶴子理事長・社会学者・東大名誉教授)より配信。
- 連載37 会社員から農へ——見沼で見つけた「私らしい農業」——さいたま市・新規就農した宮田順子さん「だいふくファーム」

<https://wan.or.jp/article/show/12560>



- 連載35 古民家をひらき、畑を耕し、人がつながる千葉県長生郡一宮町ミナモトファーム 齋藤絢子さん

<https://wan.or.jp/article/show/12391>



- その33「資本主義のリズムじゃなくて、自然のリズムで生きたい」さいたま市・こばと農園 田島友里子さん

<https://wan.or.jp/article/show/12214>



- その31「環境にやさしい野菜を広め、自給率の向上にもつなげたい」群馬県太田市・鈴木かすみさん株式会社バイオベジ代表取締役

<https://wan.or.jp/article/show/12052>



新規就農をした女性たち特集です。

●その 26「消費者に近い都市農業の魅力を広げていきたい」

東京都日野市・梅村桂さん

<https://wan.or.jp/article/show/10809>



●その 25「パクチーの楽しさ美味しさを伝えたい

千葉県八千代市・立川あゆみさん」

<https://wan.or.jp/article/show/10704#gsc.tab=0>



●第 11 回「静岡県菊川市でゼロから農業開始、今では30ヘクタールの
大規模農家へ！」 塚本佳子さん

<https://wan.or.jp/article/show/7969>



●連載37回 番外編が10本配信されています。<https://x.gd/CckPR>



👉 バックナンバー

ウィメンズアクションネットワーク Women's Action Network



フェミニズムを伝える・学ぶ・つながるサイト

国連は2026年を「国際女性農業従事者年」と定めています

★新規就農にも繋がる新たな潮流の農業を特集配信していただきました。
『東京大学農学部弥生講堂内「日本農学アカデミー」』会報第45号2026年7月発行

特集 わが国の農業の将来を考える—今求められているものは何か

農業・食・エネルギーをめぐる現場の新たな潮流 食環境ジャーナリスト金丸弘美

<https://www.academy-nougaku.jp/bulletin045.html>

各地で持続社会に繋ぐ農業が生まれている。多くの新規就農者が生まれている取り組み。

- ①「オーガニックファーマーズ朝市村(名古屋)」
- ②参加者が増える都市農業「練馬方式」体験農園(東京都練馬区)
- ③長崎県大村市「おおむら夢ファームシュシュ」
- ④群馬県昭和村に拠点を置く「野菜くらぶ」
- ⑤地域資源を活かした持続的発展モデル — 群馬県川場村の挑戦「田園プラザ川場」
- ⑥地域再生とエネルギーの融合が拓く「農村経営業」の未来
——千葉県匝瑳市におけるソーラーシェアリングの挑戦——



★食の雑誌「味の味」(アイディア)でエッセイ「地食が面白い」を連載中。

連載は116回。8月号は「倉吉市から届いた極上大玉スイカ」です。

鳥取県倉吉市スイカ農家の井中農園・井中慧資さんは、東京農業大学卒。大学では生物応用化学科。妻・香澄さんとは大学で知り合った。香澄さんはバイオサイエンス学科で学び、2019年 埼玉から夫・慧資の故郷である鳥取県倉吉市に移住。現地で食べた倉吉スイカの美味しさに感動し、スイカ農家になることを決意。2022年 夫婦で新規就農。2024年 野菜ソムリエサミット6月の青果物部門「いなかのすいか」銀賞受賞。



「味の味」は、HP掲載の有名料理店・酒蔵に置いてあります。

<http://www.ajinoaji.com/> 表紙写真は6月号です。



「味の味」HP

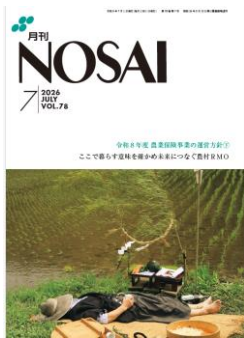


👉 これまでの掲載記事

★食・農業・環境・地域づくりの現場から活力ある取組をレポートしています。
『農と食で高める地域の力』『月刊NOSAI』（全国農業共済協会）

10ページで特集。連載は60回目を迎えました。2026年7月号

http://www.nosai.or.jp/nosai_kasou/syuppan.html



岩手県一関市藤沢町黄海の「Ark 館ヶ森」を紹介。8月と連続2か月特集。

「農と食をつなぎ、地域を循環させる力 岩手県一関市・Ark 館ヶ森の挑戦
(その1)」農業を軸に加工・販売・観光までつなぐ

「Ark 館ヶ森」は広大な牧草地や小麦畑、レストラン、加工場、花畑、放牧地が広がっている。養豚から加工、レストラン運営、通販、観光、福祉との連携までを一体的に展開するこの施設は、単なる観光牧場ではない。農業を核にしながら多様な事業を組み合わせることで、地域経済を循環させている。年間20万人が訪れる。そのシチュエーション、モノづくりのこだわり、デザイン性には圧倒される。移住・定住。農業現場への就職もある。



●これまでのバックナンバー <https://x.gd/bxeil>

総務省地域力創造アドバイザー/内閣官房地域活性化伝道師

農林水産省・地産地消コーディネーター

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

発酵文化推進機構特別研究員 高知県観光特使

金丸弘美(食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー)

●140-0003 東京都品川区八潮5丁目6-37-205

メールアドレス kanamaru.hiromi@cameo.plala.or.jp 携帯 090-3688-2245



◎ホームページ(活動詳細とWEB配信を見ることができます)

◎ホームページ <https://x.gd/6Vz5m>